

浅野史郎さんの講義を受けました。

運命の話をなさいました。

I、障害福祉課長になった II 県知事になった III、病気になった

この三つの自分で選んだわけでない運命で、自分の人生が始まった。

運命とおっしゃっていましたが、どれも私には「努力」の文字が浮かんできます。先の二つには、努力したうえでのものであるべき要職でしょう。病気はなってからの努力が見えてきました。

お話の中に、何か所か私の心に響くことがありました。上記の運命もそうですが・・・

- | | |
|--|----------|
| ① | 障 |
| 害児には今日できないことを明日できるようにする⇒これが指導員の仕事 | |
| ② | 障 |
| 害福祉課長になったとき、その人たちのことを知るために、問題解決の旅（視察）にでかけ、情報のシャワーを浴びた。 | |
| ③ | 障 |
| 害者を社会の中心に置く | |
| ④ | 生 |
| きる意味を考える⇒みんながみんな甲子園に行けるわけでない。玉が一つでも打てるようになることが進歩の子もいる。 | |
| ⑤ | 可 |
| 能性を信じる⇒可能性哲学の実践 | |
| ⑥ | 普 |
| 通の場所で普通の生活をさせる⇒保障する。そしてそれを支援する。 | |
| <u>⑦</u> | <u>足</u> |
| <u>元に泉あり</u> 自分の今の仕事（足元）においしい水が湧いてくる⇒仕事の中に楽しさが湧いてくる | |
| ⑧ | 同 |
| 志（仲間）がいる⇒一緒になって、スクラム組んで、闘う | |
| ⑨ | 闘 |
| いは一人でやるのではなく、仲間がいる。闘いは楽しい。 | |
| ⑩ | 闘 |
| 病も、楽しいと思うと楽しい。この病気と闘うんだ⇒これも <u>足元に泉あり</u> に通 | |

じる。

時間があっという間にきた感じでした。青山では動き回る浅野さんの姿がみられたでしょう。またゆっくりお話を聞きたいと思いました。

足元に泉あり・・・私の人生においても今後、行き詰った時などに思い出したいと思います。

ありがとうございました。